

2019 年度第 1 回獣医同窓会理事会議事録

日時：2019 年 4 月 26 日（金）午後 6 時半より

場所：酪農学園大学同窓生会館 2F 大会議室

出席：24 名（内理事 22 名）

高橋健(2)、對島威(4)、加藤清雄(5)、南繁(6)、星野佐登志(10)、中出哲也(12)、小林邦弘(13)、近藤厚(14)、重信隆夫(15)、廣田和久(16)、植田弘美(19)、後藤正光(23)、古部康成(24)、西村謙一(26)、岩野英知(27)、三好健二郎(28)、華園究(35)、伊丹貴晴(37)、内田玲麻(42)、家子貴裕(48)、大杉剛夫(13・学内)、藤木純平(47・学内)、作井睦子(9・監事)、吉田充宏(23・監事)

欠席（委任状有り）：23 名

野村武(1)、天野博次(3)、田村孝(7)、小岩政照(8)、高瀬直敬(9)、高橋俊彦(11)、泉澤康晴(17)、川本哲(18)、松本眞一(20)、平山和子(21)、工藤竜二(22)、高橋伸一(25)、小池政紀(29)、福田茂夫(30)、前原誠也(32)、足立真実(40)、堀あい(41)、権平智(43)、林美里(45)、広瀬拓哉(46)、高橋直紀(47)、椿下早絵(31・学内)、村田亮(37・学内)

欠席：8 名

川田耕司(31)、會津里衣子(33)、西川晃豊(34)、美名口順(36)、中村晃三(39)、橋本茉由子(49)、田面木晴香(50)、大塚浩通(25・学内)

連絡先不明：2 名(4 月 25 日現在)

陳内理生(38)、遠藤ちひろ(44)

開会

1. 出席者の確認

事務局長より定足数を満たしており会議成立が報告された。

2. 会長挨拶

南会長より挨拶があり活発な討議の依頼がなされた。

議題

I. 報告事項

事務局長より議案書のとおり下記の報告がなされた。

1. 学園、大学および獣医類の近況について

人事について一部訂正があった。

2. 獣医同窓会および校友会について

物故者について一部訂正と追加があった。

3. その他

その他報告事項は無し。

II. 審議事項および協議事項

1. 2018 年度収支決算および監査報告について（資料②）

加藤先生より報告され、承認された。

2. 2019 年度事業計画案について

来年度事業案について事務局長より議案書のとおり説明された。また、三愛賞選考委員会の人選について会長から説明が加えられた。下記の点について討議の後、議案書の内容について一部訂正され承認された。

・第 2 回理事会の日程について 1 月 31 日(金)18 時 30 分が提案され了承された。

- ・三愛ダイジェスト版については、訃報の掲載はやめる。また、三愛ダイジェスト版については当面発行を続ける方針が確認された。
- ・来年度編集長の記載については誤りがあり、49号は加藤 敏英(14期)氏に、50号は菅野 美樹夫(14期)氏に依頼したことが訂正・提案され了承された。
- ・記念同窓会予定に付いて40周年は13期が6/22に開催することと13期は来年度となることが訂正されて確認された。

3. 2019年度収支予算案について(資料③)

加藤先生より予算案の説明がなされ、また下記の提案がなされた。予算案については承認され、一部提案については継続的に協議していくことが確認された。

- ・特別会計に記載されていた証明書料と利息については一般会計扱いとすることが提案され了承された。
- ・委託徴収費(5%)が取られる。手数料については学園から同窓会への委託事業により還元していく予定とのことが報告された。
- ・預金の分散(1行1000万円まで)など今後資産保護についての対策が提案された、今後その点について検討していくことが確認された。
- ・差異の表記法について予算・決算で統一した方が良いのではとの提案があった。法人、NPOなど書式は色々あるため、執行部一任にて記載方法について確認し決定することが了承された。
- ・今後の入学者に対しての還元方法について質問があった。本件については審議事項5にて討議された。
- ・特別予算の使い道について質問がなされた。本予算については、今すぐ何かとは考えずに次の獣医学科・学類の周年行事やもっと大規模な事業投資等ある程度計画的な用途を検討する事が確認された。用途決定の際は再度理事会にて審議することも確認された。

3. 獣医同窓会助成金規程の改訂について(資料④)

事務局長より本件について議案書および配付資料の通り説明がなされ、以下の提案・討議がなされ了承された。最終的に以下の意見を取り入れ執行部にてまとめ、本件について代議員会に図る旨承認された。

- ・開催人数について「10名以上」と明記する(2条に追加)。
- ・第5条にある開催後報告の義務不履行に対する文中の「等」は削除する。
- ・関連事業の内容について執行部にて案を出し定める事とする。Ex)研究室の記念会、酪小獣、同門会、研究会、
- ・終身会員対照についての実施について議論があった。ただ、会費納入者と非納入者の差別化は必要でありその1つとしての必要性が説明された。今回はこの形で代議員会に提案することとして承認された。
- ・記念事業への助成は本規程ではなく都度別途に理事会にて審議し決定する。
- ・本議案決議後に予算書内の補助予算額も変更する。

4. 現役学生に対しての同窓会事業について

事務局長より本件について議案書の通り発議された。以下の通りの協議がなされ今後継続協議することが確認された。

- ・在学中はあくまでも準会員扱いなため現状では在学中の会費還元方法については行わない方針。
- ・在学中からの同窓会活動のアピールの必要性はあるため今後の協議課題とする。
- ・2018年度入学生(2023年度卒業生)が卒業する際には同窓会からの何らかの贈呈品(記念品、パーティ補助等)は必要と考えられるためその点も継続協議とする。

5. 事務局手当の支給額について

事務局長より本件について議案書の通り発議され、加藤理事より補足説明もなされた。その上で以下の通りの提案。協議がなされた。一部継続的な協議が必要な事が確認された後、議案については承認され支給額については執行部に一任された。

- ・現行構成員に頼る方法ではなく、パートによる事務員の雇用も検討していく必要があることが提案された。
- ・一方で、事務員やお手伝いを雇う等には受給者の裁量に任せるとして、それを見込んだ支給額にすることも検討してはとの提案もなされた。
- ・支給および増額案は謝礼 3 万、その他は増額 2 万、編集長 3 万位と提案されたが、最終毛体は執行部にて一任することが了承された。

6. 代議員会のあり方について

事務局長より本件について議案書の通り協議事項として発議され、会長からも補足説明がなされた。下記の様な意見が出され、本件について執行部で取りまとめ、代議員会にも議案の 1 つとして上げることが確認された。

- ・現状の最終決定機関ではあり、今までは代議員自身からは継続を希望する声が多かった。
- ・出席員が固定化しており、地域格差が見受けられ最高決定機関として意味合いが薄れている感もある。
- ・他の同窓会組織と同様に年 1 回は理事・代議員会の形式を取ってはどうか。
- ・来年度までの課題として小委員会の立ち上げ検討してはどうか。
- ・先ずは、代議員会には理事会でこのような意見が上がっていることをお知り今後将来に向けての適応を検討する必要性について提案をし協議していくことが確認された。

8. その他

◆会費納入促進方法について。

会長より会費納入促進についてアイデアの要請がなされた。下記の様な意見が出された。今後継続して協議していくことが確認された。

- ・ダイジェスト版の送付後に納入数は増えてはいる。
- ・学生に対するメリットの明確化した方が良いのではないか。
- ・支払い方法の仕組み作り検討 (PayPay 等)。
- ・在学生に対しては保護者へアピール、理解を求めることも必要では。

◆同窓会室利用

会長より B1 号館 (元獣医 1 号館) 1 階にある獣医学類資料展示室(同窓会室)の利用充実のために小委員会を発足し検討を進めたい事が提案された。4、5 名を会長が人選し取り進めていくことが確認され承認された。

閉会

廣田副会長より閉会の挨拶。